

渋滞対策の検討及び体制について

福井県渋滞対策協議会

※構成員

国土交通省近畿地方整備局、中部運輸局、福井県、福井県警察本部、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、一般社団法人福井県商工会議所連合会、一般社団法人福井県トラック協会、公益社団法人福井県観光連盟

渋滞対策の方向性及び対策を検討する体制を構築

ワーキンググループ

道路管理者

福井河川国道事務所

福井県

(三国、福井、鯖江・丹生、丹南、敦賀、小浜土木)

関係市町

(坂井市、福井市、鯖江市、越前市、敦賀市、若狭町、小浜市)

交通管理者

福井県警

地域や道路利用者

主要渋滞箇所関連 基礎自治体※

議論する内容により、必要なメンバーが参加

※基礎自治体については、同意をいただいた後に論点に応じて、参画いただく予定

福井県全体における渋滞対策の対応に係る基本方針(案)

検討経緯

- 福井県における道路の渋滞対策を効率的に進めていくために、「福井県渋滞対策協議会」※(以下、協議会)において、道路利用者の皆様が実感している渋滞箇所を「地域の主要渋滞箇所」として選定しました。
- この度、「地域の主要渋滞箇所」に対する対策の基本方針を「協議会」にて検討し、とりまとめました。

※「福井県渋滞対策協議会」の構成員

国土交通省近畿地方整備局、中部運輸局、福井県、福井県警察本部、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、一般社団法人福井県商工会議所連合会、一般社団法人福井県トラック協会、公益社団法人福井県観光連盟

H24.6 第1回協議会

H24.8 第2回協議会

H24.12 第3回協議会

地域の主要渋滞箇所 選定

対策の基本方針

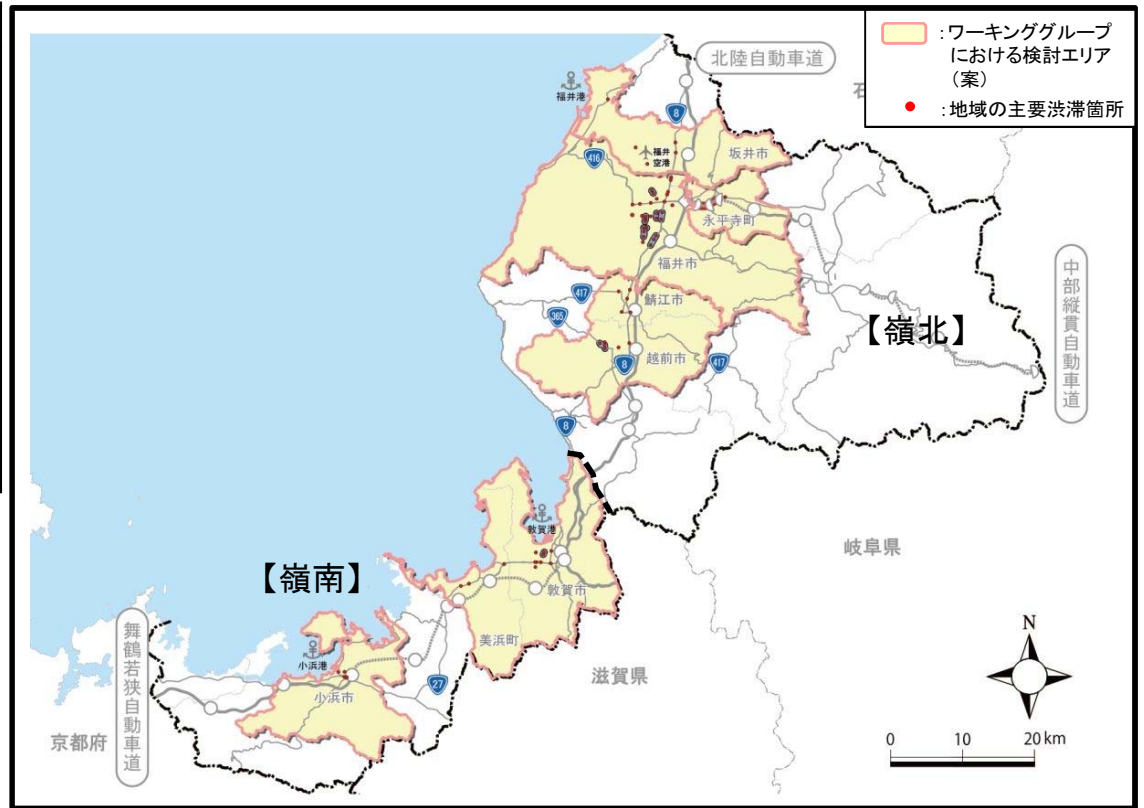
1. 福井県の概況

	概要
県域特性及び道路交通状況	<p>【地域特性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福井県は関西と北陸を結ぶ要衝の地であり、共働き率および自動車の1世帯当たりの保有台数が全国1位と自家用車利用の多い県です。 地域区分は嶺北地方と嶺南地方に分かれ、嶺北地方は県都としての都市機能が集積する福井周辺エリア、福井港や芦原温泉のある坂井周辺エリア、歴史文化資源や福井大学等の学術研究機関が立地する永平寺周辺エリア、高速へのアクセス性の良さから工業地域が集積する鯖江・越前周辺エリアに区分されます。嶺南地方は重要港湾敦賀港が立地する敦賀周辺エリア、国定公園である若狭湾に面した小浜周辺エリアに区分されます。 <p>【道路交通の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 嶺北地域は北陸自動車道、国道8号等の南北の幹線道路が、嶺南地域は国道27号等の東西の幹線道路が交通の主流となっています。 嶺北地域は全体的に交通量が多いことによる渋滞、嶺南地域は主要幹線である国道27号へのアクセス道路において渋滞が見られます。 福井市には、県内の主要渋滞箇所の約3割が集中し、坂井市や鯖江市、越前市、永平寺町、敦賀市、美浜町、小浜市にも渋滞箇所が存在しています。

2. 方向性

	概要
総合対策等	<p>各エリアの道路交通や渋滞の特性を踏まえ、渋滞の詳細な要因分析を行い、交通渋滞軽減への取り組みを進めて参ります。</p> <p>(ソフト対策) 高速道路と一般道路との適切な交通分担を促す取り組みの他、朝夕の交通ピーク時の公共交通への転換や、信号サイクルの調整等の検討を進めます。</p> <p>(ハード対策) 高速道路ネットワークや幹線道路の整備の他、一般道路の交通負荷を分散する取り組みの検討。</p>

3. 福井県全体の交通ネットワーク



基本方針

高速道路ネットワークや幹線道路の整備による交通容量等の確保及び公共交通機関の利用促進等のソフト対策による渋滞軽減への取り組みのほか、協議会の下に関係者で構成されるワーキンググループを設置し、ソフト・ハードを含めた更なる渋滞対策の検討を進めて参ります。

